

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 敬寿荘

作成日： 令和3年12月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	カンファレンスに併せ、3ヶ月に1回程度職員全員で身体拘束に関する研修会を実施し、具体例などをあげ共通理解に努めているが、それとは別に、身体拘束適正化のための対策を検討する委員会の場を改めて設け、議事録を作成するとともに、話し合った内容を職員全体に周知する。	3ヶ月に1回、管理者、各ユニットリーダーの3名で委員会を開催し、身体拘束に関する対策を話し合い、議事録の作成とともに話し合った内容を職員全体に周知し、身体拘束についての理解を深める。また、カンファレンスに併せた研修会を継続する。	カンファレンスに併せて3ヶ月に1回の研修を継続する。その研修に合わせて事前に委員会を開催し、議事録を作成するとともに、内容を職員に周知し、日常のケアの中で身体拘束に当たる行為が無いかなどの話し合いのきっかけを作り、職員全体で情報共有し意識向上に繋げたい。	3 か月
2	4	2ヶ月に1度(奇数月)開催される運営推進会議は、コロナ過のため開催することができず、規制が緩和された11月(第4回)に今年度初めての開催となった。コロナ感染予防対策のため限られた委員で開催したが、規制が緩和されたことで、以前からの課題であった入居者・外部(消防・警察)の方にも参加して頂く。	運営推進会議の場に入居者・外部(消防・警察)の方にも参加していただき、お互いに顔を覚えてもらえるように、来年度に向けて計画を立てる。また、コロナ過で会議が開催できず中断していたが、管理者、リーダー以外の職員の参加も再度検討する。	1月(第5回)の運営推進会議に、入居者1~2名の参加を検討中。始めは自己紹介や挨拶程度の会話ができるよう進め方を工夫し、徐々に入居者の意見も取り入れられるように繋げたい。	12 か月
3	11	各ユニットごとに毎月開催しているカンファレンスの中で、利用者に関する情報共有や、業務に関する話し合いの時間を設け、常に意見交換がしやすい環境づくりを心がけているが、職員個人個人の思いや希望の把握までは充分とは言えず、管理者による職員との個人面談を定期的に開催する。	管理者による職員との個人面談の機会を設け、職員一人ひとりの思いや希望、またはケアに関する考えに耳を傾け、一緒に課題解決に努める。定期的に開催し、個人のスキルアップにつなげたい。	「自分が考えるケアの目標」を一つ決めておくように、職員全員に伝えている。1月~3月の間に個人面談を実施できるよう、具体的なスケジュールを作成予定。	12 か月
4					か月